

全国港湾4役、単組委員長、新年のごあいさつ

全港湾・松本耕三



あけましておめでとうございます。十二月の総選挙では、自民党が圧倒的な支持を得て、安倍首相の経済政策は行き詰っています。金融緩和と財政バラマキだけの安倍政権の経済政策は、实体经济の回復を伴わない株値上昇だけのバブル経済の様相を呈しています。通貨の価値は日本の国力、経済力に比べて著しく低下しています。正規労働者の雇用は減少し、非正規労働者が増えています。賃金は一部の手続きの正社員に留まり、実質賃金は減少し続けています。政府のボロスのままだけは日本は財政赤字が膨らみ、世界最悪の「双子の赤字」国となるでしょう。

「日本の景と国の財政がかけたハチの様なもの」だと言われていたのが、このバツに届いてしまっている。安倍首相は選挙で、「雇用が二〇〇万人増えた」「賃金は二七年分の1.5%上昇した」と言っていたが、正規労働者の雇用は減少し、非正規労働者が増えています。賃金は一部の手続きの正社員に留まり、実質賃金は減少し続けています。政府のボロスのままだけは日本は財政赤字が膨らみ、世界最悪の「双子の赤字」国となるでしょう。

安倍首相は選挙で、「雇用が二〇〇万人増えた」「賃金は二七年分の1.5%上昇した」と言っていたが、正規労働者の雇用は減少し、非正規労働者が増えています。賃金は一部の手続きの正社員に留まり、実質賃金は減少し続けています。政府のボロスのままだけは日本は財政赤字が膨らみ、世界最悪の「双子の赤字」国となるでしょう。

日港労連・西川憲一郎



結果は、与党の圧勝で安倍首相の狙い通りとなった。選挙中に安倍首相は「アベノミクスで景気回復は諦めず、生活を守るために、向上させるために日本経済がデフレから抜け出すために、労働者の賃金を上げるために、消費税増徴を断念する」ということを約束していた。しかし、選挙結果は与党の圧勝で、安倍首相の狙い通りとなった。選挙中に安倍首相は「アベノミクスで景気回復は諦めず、生活を守るために、向上させるために日本経済がデフレから抜け出すために、労働者の賃金を上げるために、消費税増徴を断念する」ということを約束していた。

検定労連・遠藤一幸



組合員の皆様、あけましておめでとうございます。新年にあたり謹んで挨拶を申し上げます。昨年末は突然の解散総選挙のため、慌ただしい年の瀬となりました。七百億円もの費用が掛かる総選挙を二年もの任期を残して行なうという問題も残りますが、争点は安倍政権が進めている経済政策のみならず、憲法・外交安全や米軍基地建設の問題、また税制・働き方・社会保障や原発再稼働問題など、平和と民主主義、庶民労働者の暮らしに関する大切な問題が争点の選挙でした。

組合員の皆様、あけましておめでとうございます。新年にあたり謹んで挨拶を申し上げます。昨年末は突然の解散総選挙のため、慌ただしい年の瀬となりました。七百億円もの費用が掛かる総選挙を二年もの任期を残して行なうという問題も残りますが、争点は安倍政権が進めている経済政策のみならず、憲法・外交安全や米軍基地建設の問題、また税制・働き方・社会保障や原発再稼働問題など、平和と民主主義、庶民労働者の暮らしに関する大切な問題が争点の選挙でした。

検数労連・沖原勝治



新年あけましておめでとうございます。全国港湾に結集する組合員とその家族の皆さんの二〇一五年がより良い年になる事を心より祈念致します。昨年八月豪雨による広島市の土砂災害、(御嶽山噴火)、マクニチュード六・七の野営地、北海道六・七の野営地、被災地におもひに被災された方々の一日も早い復興を心より願っています。私たちに大きく影響を与えている第四七回衆議院議員選挙。

全倉運・内藤維彦



明けましておめでとうございます。組合員の皆様、ご家族の皆様におかれましては、新年を迎え、おめでとうございます。選挙結果は与党の圧勝で、安倍首相の狙い通りとなった。選挙中に安倍首相は「アベノミクスで景気回復は諦めず、生活を守るために、向上させるために日本経済がデフレから抜け出すために、労働者の賃金を上げるために、消費税増徴を断念する」ということを約束していた。

大港労組・小嶋敏弘



組合員の皆様、ご家族の皆様におかれましては、健康やかに新年を迎え、おめでとうございます。選挙結果は与党の圧勝で、安倍首相の狙い通りとなった。選挙中に安倍首相は「アベノミクスで景気回復は諦めず、生活を守るために、向上させるために日本経済がデフレから抜け出すために、労働者の賃金を上げるために、消費税増徴を断念する」ということを約束していた。

全国港湾・玉田雅也



組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

全国港湾・市川康太郎



組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。組合員の皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

労働者保護ルールの改悪に断固反対!

昨年秋の国会で労働法制改悪に関する法案(派遣法改悪)が提出され、審議されたが、廃案となった。しかし、昨年12月の衆議院議員選挙において、与党・自公が3分の2の議席を獲得し、今年、国会で再提出されるのは、確実となっています。安倍政権は、成長戦略の名のもとに、働く者の雇用をおびやかすような労働者保護ルールの改悪(=解雇ルールや労働時間ルールなどの緩和)を行おうとしています。職業を持つ人の9割が雇用労働者である「雇用社会日本」において、働く者の犠牲の上に成長戦略を描くことなど決して許されるものではありません。労働者保護を後退させ、格差社会を拡大させるこうした動きに、断固反対しよう!そこで、その改悪の内容を追ってみました。

【派遣法の改悪】

ねらいは正社員ゼロ、生涯、ハケンで低賃金、のルール改正

労働者派遣法のルールを全面的に見直し、派遣労働者は「生涯、ハケンで低賃金」のまま働き続ける仕組みの導入。

【ホワイトカラー・エグゼンプション】

過労死を増大させる懸念のある制度の導入

現在、「1日8時間、1週間40時間」といった労働時間に関するルールが設けられていますが、いま、政府は、一定年取以上の労働者を、その労働時間ルールの対象外にする制度の導入。

【解雇の金銭解決制度の導入】

カネさえ払えばクビ切り自由化

不当にクビにされた労働者が、裁判所に訴えて「解雇は無効!」との判決を勝ち取っても、その後会社がお金さえ払えば、結局労働者をクビにできる制度の導入。

【限定正社員】

クビにしやすい正社員制度の普及

仕事内容や勤務地、労働時間などが限定された正社員、いわゆる「限定正社員」を増やすとともに、それに応じて、解雇ルールの見直し。

解雇の自由化など、労働者保護ルールの改悪には断固反対!! 迫り来る『正社員ゼロ、残業代ゼロ、クビ切り自由社会』

